

**武蔵野跡地30haの
都市計画決定は
すばきでない
周辺63haと一体
齋藤 詔治**

(問) 武蔵野操車場跡地30ha、グランド、コントロールセンター跡地のおのを、吉川市が用地を購入する事は、財政健全化を進める上からも重要であり、開発資金等については民間活力の導入を図るべきです。工事実施に当たっては、周辺と一体開発が必要不可欠です。

(答)市長 平成18年から多くの方々から多様な整備手法の提案を頂き、武操跡地、グランド、コントロールセンター跡地の取得について検討して参りましたが、跡地の購入金額の資金調達ができない事や、民間企業への売却が現実でない事から、大きなリスクが有り、跡地を購入しての一体整備は困難であると考えております。また、鉄道運輸機構は平成19年度跡地の処分期限を控え資産処分審議会における、今日までの位置付けを踏まえ、整備手法の変更は受け入れ出来ないとの事です。周辺地区は段階的に整備をいたします。

(問) 30haの都市計画決定は、周辺地区造成工事に当たって、10万台以上の大型ダンプ稼働となり、交通渋滞や排ガスによるCO₂の飛散による環境負荷、周辺整備に対する今後の財政負担、造成事業費の増大、63ha周辺土地所有者への合意等を考慮し、まちづくりは、高い視野にて実施をお願いしたい。

(答)市長 跡地や周辺整備に当たっては、環境に配慮しながら整備を図り、周辺地区整備は公共残土を無償で受け入れ造成する予定であり、事業費の増大につながるものではない。3月19日にJR東日本からの回答書に「新駅利用者の早期確保を図るため、操車場跡地の平成19年度都市計画決定が条件であり、輸送障害の早期解消を図る」というJR東日本の意向を踏まえ、跡地を先行整備する事が新駅の早期設置に繋がるものと考えております。



**栄学童の
通学路の改善を
佐藤 清治**

(問) 子どもたちが通学路から学童に行く際に学童西側の柵を先童の方が持ち上げ、そこから子どもたちは学童に入るようですが、この点について改善が必要ではないでしょうか。

(答)健康福祉部長 設置者による協議をさせていただき、使いやすくできるかも含めて協議をしていきたいと思っております。

**負担増と市の
対応について**

(問) 納税通知書に対する問い合わせはどの程度あったか、また他の自治体では吉川市と同じような説明資料を配ったのか、教えていただきたい。

(答)総務部長 6月1日に納付書を発送してから6月8日までの集計ですと、295人の問い合わせがありました。

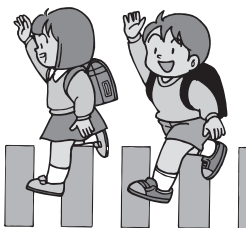
内訳ですが、税源移譲についての問い合わせが185件、定率減税に対する問い合わせが22件、その他88件でした。

他市の広報の方法ですが、送られてくる資料は一律ですので、ほぼそれに沿って広報しているかと思えます。

(問) 松伏町では町県民税の納税義務者の皆様ということで、平成19年5月25日付で松伏町税務課から平成19年度の町県民税の増税について、お知らせが発表されています。

その際、具体的モデルケースとして、給与収入の方で、例えば200万円の方は平成18年度町県民税4万5100円、平成19年度9万5000円、増える税額4万5400円、所得税の減る税額3万3600円、実質増税額1万1800円というように出していますが、吉川市はどうですか。

(答)総務部長 今回、税源移譲が新しくできた部分があって、税源移譲に重きをおいたということとは確かであり、少し分かりにくかった面もあるかと感じております。



日本司法支援センター 法テラス

**市民相談の
更なる充実を
川島 美紀**

6月号広報よしかわでは、消費者啓発参考情報「暮らしの110番」トラブル情報とのタイトルで消費生活相談の事例が掲載されています。トラブルを未然に防ぐため有意義な情報と評価します。特に近年、法律相談や困りごと相談が増えていると伺っています。

市民がより相談しやすい相談体制が必要と考えますが市民相談の現状、課題、改善策等を伺います。

(答)総務部長 市では、法律相談、困りごと相談、教育相談、消費生活相談など各種相談を実施し、解決のための方法をアドバイス